

《別紙》

1. 開催年月日 令和2年5月

2. 開催場所 なし

3. 委員出席

委員総数 6名

レポート提出委員数 5名

レポート出席委員名

下川 隆 委員長

山本恒安 委員

小松真弓 委員

伊藤理香 委員

鈴木 悟 委員

欠席委員名

賀陽智之 委員

回答放送事業者側出席者

鈴木信克（代表取締役）

飯島千ひろ（制作室室長・ディレクター）

4. 議 題

「ウィークエンドボイス」毎週土曜日 11時～12時45分生放送

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音したCDを聴いていただき書面にて提出。

6. 審議内容

(伊藤) 緊急事態宣言下での生番組放送のあり方として、窓が開いていて雨音や車の走行音、「マスクしています」「アクリルボードで仕切られています」などを伝えていてリアル感があり、良かった。地元で頑張っている方々の紹介があるのは、色々な意味で励みにもなって嬉しいです。また、スポーツコーナーでも J2 山口レノファのサッカー選手の古賀俊太郎さんなど、西東京出身で中学卒業後に単身でヨーロッパにサッカー留学するなど前向きな若者が多いことに本当に嬉しく思った。ただちょっとだけ酒匂さんの声がハスキーで聞きづらいなと思う点もありました。

(小松) コロナ禍の中でのスタジオからの生放送で、飛沫感染予防のことを説明してくれて、リスナーは安心して聴けるのだと思った。雨の中、車が走る水しぶきの音も入ってきて、本来ならあり得ないことだが、逆にスタジオなのに、外の音が入るという貴重な番組になると思う。一人で質問も答えも読んでいたので、だれか他に一人が会話に入るようなスタイルの方が、聞いていて「ワクワク感」がより一層伝わるような気がした。

(山本) 聞きやすい、声がよく通っている。スタートするまで長く、曲紹介・天気・交通・給付金などの話が 14 分くらいあった。こういうスタイルなのか？ インスタやユーチューブの影響力を改めて感じる。「西東京カメラ部」のモデル金松さんから、俳優仲間につなげていくという企画もおもしろいかも。（昔の笑っていいもの「ともだちの輪」のように）もっと芸能人の話を聞きたかった。また、劇団を辞めた理由もききたかった。ネタが枯渇している中、また遠方（山口県）という事で仕方がないが、本人の声を流す方がいいと感じた。

(鈴木) ゲストコーナー・スポーツコーナーともにゲストのチョイスが良い。西東京出身のスポーツ選手を取り上げてもらえると、子ども達に勇気や希望を与えることができ良かった。3 密を防ぐための換気なのは分かるのですが、自動車の騒音で声が聞き取りづらかった。

(下川委員長) パーソナリティーの話、企画、構成、交通情報、特殊詐欺の防止の呼び掛け等々、
しっかりしている番組の印象。ゲストコーナーは、色々な情報満載で大変興味深く聴けたが、
後半盛り上がり過ぎて同時に喋りや笑い声が重なり、聴きづらい箇所があった。西東京市出身
の活躍している選手をよく探してきたなと思った。これからも応援していければと思う。

(飯島制作室室長)

この番組は市民が作る市民のための情報番組で、市民スタッフが企画から制作、出演ま
でを担っている。この4月からリニューアルをし、「地域を遊ぶ」をコンセプトに彼らが
面白がって番組作りをしているさまが番組に反映されているスタジオゲスト」を「電話
ゲスト」としてしまった点は原稿ミス。そのまま読んでしまった事が原因と思われる。
ご指摘ありがとうございます。7月4日からはこの番組もいよいよ駅前スタジオからの
放送となるため、駅前情報発信拠点の「まちテナ西東京スタジオ」としても、より多くの市
民を巻き込み、ここから地域情報を発信することがミッション。番組スタッフともども局と
しても励んで参りたい。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

自社放送 事務所への備え置き 自社HP への掲載

9. その他の参考事項

なし